

株主の皆様へ

「素敵な未来」を作いませんか？

アミタは生命の尊厳を守る「循環システム」を構築し、希望ある未来づくりを目指します。

「What is Value?-価値とは何か?-」

この問いは、アミタグループの企業メッセージであり、我々の原点でもあります。

私が15歳の頃、写真家のユージン・スミス氏が撮影した、水俣病の娘を抱く母の写真と出会いました。書店の棚で目を奪われ、一步も動けなくなったことを今でも覚えています。時代に抑圧された被害者のふりをして、ただ無為に過ごしている自分と、病に侵されながらも懸命に生きる同世代の少女を比較した時に、自分が当事者意識のない傍観者・批判者にすぎない事を知り、生まれて初めて強烈な「恥」という感情を知りました。そして、公害や戦争は、経済問題や政治問題ではなく、人間問題なのだと気づきました。自分自身を含めた人間の行動動機にこそ社会課題の本質があることを、子どもながらに感じたのです。

過去を生きたあらゆる人々が、ただただ幸せになろう、豊かになろうと願い、頑張り続けることで発展してきた近代社会。しかし、飢餓貧困を撲滅し、物質的な豊かさと生活の便利さを追求してきた結果、人類は戦争、公害、地球温暖化、資源・食糧・水の枯渇、自然の劣化、人間関係の劣化など、様々な社会課題を生み出すこととなりました。これらはまさに「近代の誤作動」というべき、時代の副産物です。

これらの社会課題を解決し、真に持続可能な社会を作るにはどうすればよいのでしょうか？

多くの人々は、人の意識が変われば社会が変わると信じています。意識が変わることで価値観が変わり、価値観が変われば行動が変わる。そして意識を変えるには教育を変える必要がある、と。しかし、教育による社会変革には時間がかかります。地球の劣化は、待ったなしのところまで来ています。私は事業家として、違う道筋を提案したいのです。時代というものが人間の意思と行動によって作り出させる社会現象である以上、人々の行動を変えることが最優先です。日々の行動が変われば意識が変わり、意識が変われば価値観が変わり、時代が変わるのです。

アミタグループは事業を通じて人間の行動を変え、時代を変える事に挑戦し続けている企業です。

では人間の行動を変えるにはどうすればよいのでしょうか？ その答えを探すなかで迎えた2011年3月11日。強大無比な自然の力を前に、工業社会が築き上げた多くのものが一瞬のうちに崩れ去り、我々は多くの尊い命を失いました。しかし、そんな絶望的な状況の中でも、人類は希望を手放すことはありませんでした。その希望とは「関係性」です。あの震災を経験した人々は、お金やモノがなくても、仲間やコミュニティといった目に見えないつながりさえあれば、幸せを実感できる、こころ豊かに暮らすことができる、ということに気付いたのです。

「人と人・人と自然の関係性」こそ、近代社会の脆さを身をもって体験した我々が、次の世代に引き継いでいくべき希望です。そして、この「関係性を実感できるかどうか」が、人々の行動を変える一番重要なカギなのです。新たな行動により関係性を実感出来れば、その行動は定着し、習慣化し、さらに自動的に進化していきます。これを証明しているのが、我々が現在宮城県南三陸町で取り組んでいる地域資源循環の仕組み作りです。東日本大震災で甚大な被害を受けた彼らの地の方々は、生ごみの分別という新たな作業を「関係性を生む生活習慣」として受け入れ、地域内を資源が巡っていくことを楽しみ、喜び、自ら次々とアイデアを出してその仕組みを発展させてくださっています。

アマタグループは、東日本大震災直後に開催した定時株主総会において「自然資本と人間関係資本の増加に資する事業のみを行う」ことを定款に記しました。これは、我々の決意表明です。企業である以上、利益を上げることはもちろん重要です。しかし我々は、地球を劣化させてまで利益を上げようとは思いません。アマタグループは「自然と人間の関係性が織りなす精神的な豊かさ」に価値を見出す「持続可能な社会」を目指すことを、社会に約束したのです。そして、これからの時代、この信念に基づいた事業は社会にとって必要不可欠なものとなり、この会社は社会ニーズを具現化する企業として、必ずや持続的な発展を遂げられるものと私は確信しています。

人は、微力であっても無力ではありません。同じ理想に共感した仲間が集まり、力を合わせれば、時代を変える事が出来るのです。アマタグループが株式市場に上場した目的は、まさにそこにあります。私たちが掲げる「持続可能社会の実現」という理想に共感し、賛同していただける方々に、ぜひとも出資という形で経営を応援していただきたいと考えております。国家や政治、権力に依存するのではなく、自分たちの理想とする未来は自分たちで切り拓く、という強い意思をお持ちの方と共に、未来の子供たちが豊かに暮らしていける社会を創りたいのです。

今我々は、一人ひとりが尊厳をもって生きていくために必要な安心・安全の仕組み作り＝循環システムの構築を目指した事業展開を行っています。まだまだ道半ばではありますが、株主の皆様をはじめ、多くのステークホルダーの方々より、私たちの理想へのご賛同・ご協力をいただいております。その数は年々少しずつですが拡大しています。今後も、一人でも多くの方々に、よりよい未来づくりの道行きをご一緒していただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月 28 日
アマタホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長

熊野 英介